

卒業研究		演習	教授 大森 肇	
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの必修科目、スポーツトレーナーコースの必修科目	科目ナンバリング	11130401	

1. テーマ

身体運動に伴う応答を生理・生化学的に研究し、人々の健康増進やスポーツパフォーマンス向上に貢献する。

2. ゼミのねらい・概要

身体運動や体育・スポーツが我々人間にもたらす恩恵は図り知れない。その影響は末梢の諸器官に留まらず、中枢機能や心理的側面にも及ぶ。しかしながら、運動はただ闇雲に行えば良いというものではない。健康増進やスポーツパフォーマンス、子どもの教育などの目的に応じて、運動の種類、強度、持続時間、頻度、期間などの条件を適切に設定する必要がある。また、身体運動の科学における新たな創造に挑戦することは、社会への大きな貢献に繋がるものと考えている。本卒業研究ゼミのねらいは、3年次の「専門ゼミA」および「専門ゼミB」で学修した基礎知識、実験方法、先行研究の成果などを基盤として、独自性を持った「卒業研究」を完成させることにある。

3. ゼミ計画

<p>〈前期〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 前期のガイダンス 2. 卒業研究とは（テーマ、目的、方法、結果、結論） 3. 卒業研究テーマの選定・紹介（第1グループ） 4. 卒業研究テーマの選定・紹介（第2グループ） 5. 卒業研究テーマの選定・紹介（第3グループ） 6. 卒業研究テーマの選定・紹介（第4グループ） 7. 卒業研究テーマの選定・紹介（第5グループ） 8. 卒業研究テーマの選定・紹介（第6グループ） 9. 前期進捗（予備実験等）紹介（第1グループ） 10. 前期進捗（予備実験等）紹介（第2グループ） 11. 前期進捗（予備実験等）紹介（第3グループ） 12. 前期進捗（予備実験等）紹介（第4グループ） 13. 前期進捗（予備実験等）紹介（第5グループ） 14. 前期進捗（予備実験等）紹介（第6グループ） 15. 前期のまとめ 	<p>〈後期〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 後期のガイダンス 2. 後期進捗（実験結果、考察）紹介（第1グループ） 3. 後期進捗（実験結果、考察）紹介（第2グループ） 4. 後期進捗（実験結果、考察）紹介（第3グループ） 5. 後期進捗（実験結果、考察）紹介（第4グループ） 6. 後期進捗（実験結果、考察）紹介（第5グループ） 7. 後期進捗（実験結果、考察）紹介（第6グループ） 8. 卒業研究成果物の執筆（第1稿） 9. 卒業研究成果物の執筆（第2稿） 10. 卒業研究成果物の執筆（第3稿） 11. 卒業研究成果物の執筆（第4稿） 12. 卒業研究成果物の執筆（第5稿） 13. 卒業研究成果物の完成 14. 卒業研究発表会に向けての準備1 15. 卒業研究発表会に向けての準備2、年間のまとめ
--	---

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

社会には解決すべき身体運動科学的な課題が溢れている。子どもの健全な成長、学生や社会人のストレス緩和、中高年の生活習慣病の克服、競技パフォーマンスの向上、世代を越えたスポーツ文化の醸成、サクセスフルエイジングなど、課題は枚挙にいとまがない。3年次の専門ゼミBでは、各自の興味・関心に応じて先行研究を収集・抄読し、発表・討論に繋げた。4年次の卒業研究ではその経験を生かして各自卒業研究テーマを選定し、予備実験・本実験を行い、結果を考察するとともに卒業研究成果物の執筆に取り組む。各回の予習と復習にそれぞれ3時間以上の学修が必要になる。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

授業中のプレゼンテーション、ディスカッションに対して講評や個別コメントを行う。また、卒業研究成果物に対して複数回にわたる添削を行う。

6. ゼミにおける学修の到達目標

- 1) 先行研究の収集・抄読を進めながら解決すべき問題点を整理し、卒業研究のテーマを選定する。
- 2) 卒業研究のテーマを追究するための方法論を探り、予備実験等を行う。
- 3) 先行研究からの知見を踏まえ、本実験の結果について考察する。
- 4) テーマ、目的、方法、結果、考察、結論という論理展開に基づいて、卒業研究成果物の執筆および口頭発表を行う。

7. 成績評価の方法・基準

参加状況・受講態度（50%）、提出物・発表の内容（50%）

8. テキスト・参考文献

運動生理学，運動生化学，身体運動科学に関連する専門書，学術論文，学術資料を紹介する。

9. 受講上の留意事項

ゼミ生に問われるのは知識や経験以上に学修意欲である。より良い卒業研究の完成に向けて、真摯に取り組むことを期待する。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。